

第38 回日本臨床化学会関東支部例会のご案内

日本臨床化学会関東支部会員の皆様には、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、下記の要領で第38回日本臨床化学会関東支部例会を開催致します。今回は、「多面性を持つ臨床化学の可能性を考える」をテーマに、臨床化学に関連のある話題について7名の先生方にお話いただくことと致しました。杏林大学救急医学の山口先生には、特別講演として豊富な臨床経験をもとに救急医学の中毒診療の実際と薬毒物分析の必要性について御講演いただくようお願い致しました。また、教育講演は、過去の臨床化学会関東支部総会・例会であまり取り上げていない分野について2名の先生に御講演をお願いしました。シンポジウムは最後の演題を除いて分科会プロジェクトとして取り上げた研究の最終報告を兼ねての発表となります。

土曜の午後、半日ではございますが、臨床化学のさまざまな分野について皆様とともに学び、考える機会になればと願っております。奮って御参加いただきますようお願い申し上げます。

記

日時：2022年12月10日（土）13:00～17:40

場所：杏林大学医学部附属病院 B棟4階 大学院講堂
(原則 現地開催 感染状況によりLIVE配信に変更)

(別紙案内図参照)

例会長：宮城 博幸（杏林大学医学部附属病院 臨床検査部）

事務局：杏林大学医学部臨床検査部（担当 本山）
〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2
TEL 0422-47-5511 内線3552 FAX 0422-47-5651

主催：日本臨床化学会関東支部

第38 回日本臨床化学会関東支部例会

「多面性を持つ臨床化学の可能性を考える」

開会の辞
杏林大学医学部附属病院臨床検査部 宮城 博幸
(13:00～13:05)

【特別講演】 座長 杏林大学医学部 臨床検査医学教授 大西 宏明

(仮) 救急医療における中毒診療と薬毒物分析の有用性について
杏林大学医学部 救急医学教授 高度救命救急センター長 山口 芳裕
(13:05～13:55)

【教育講演 1】 座長 杏林大学医学部臨床検査医学准教授 安戸 裕貴

(仮) 鋭敏なリスクマーカーとしての Small dense LDL コレステロール
昭和大学医学部客員教授 海老名総合病院 糖尿病センター長 平野勉
(13:55～14:45)

休憩
(14:45～15:00)

【教育講演 2】 座長 東京大学医学部附属病院 検査部技師長 小野 佳一

(仮) 腎障害のバイオマーカー ～採尿法の影響などの関連性について～
順天堂大学医療科学部教授 宿谷 賢一
(15:00～15:55)

【シンポジウム】 座長 自治医科大学地域医療センター地域医療学部門教授

小谷 和彦

1. 尿中クレアチニン測定に及ぼす薬剤の影響の検討
東京大学医学部附属病院 検査部 吉本 明 (15:55～16:20)
2. ピロガロールレッド法の血清総蛋白測定への適応
北埼玉医師会立メディカルセンター 検査室 小林 麻里子 (16:20～16:45)
3. 臨床化学会関東支部活性化に関する組織運営の検討
東京都立神経病院 検査科 汐谷陽子 (16:45～17:10)
4. ANCA 関連血管炎におけるプレセプシン測定の有用性について
杏林大学医学部附属病院 臨床検査部 坂本 大典 (17:10～17:35)

閉会の辞 日本臨床化学会関東支部長

日本大学医学部 病態病理学系臨床検査医学分野 教授 中山 智祥
(17:35～17:40)

敬称略